

平成 20 年 7 月 1 日
経 済 産 業 省

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 0 件
該当案件なし
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 8 件
(うち木製香台 1 件、竹線香(お香) 1 件、電動車いす(ハンドル形) 1 件、
電気こんろ 1 件、電気冷蔵庫 1 件、エアコン(室外機) 1 件、
テレビ(ブラウン管型) 1 件、照明器具 1 件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 8 件
(うち加湿器 1 件、電子レンジ 1 件、電気冷蔵庫 2 件、電気こんろ 1 件、
水槽用ヒーター 1 件、折りたたみ扉 1 件、エアコン(室外機) 1 件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において、
審議を予定している案件 1 件
(うちガスこんろ(LPガス用) 1 件)

※詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

- (1) 日立熱器具株式会社(現 日立アプライアンス㈱)製電気こんろ(一口)
(管理番号 A200800326)

※(タカラスタンダード㈱製ミニキッチンに組み込まれたもの)

①事故再発防止策について

昭和 63 年 10 月以前にミニキッチン等に組み込まれて販売された電気こんろに

については、体や荷物がつまみ（スイッチ操作部）に触れ、スイッチが入ってしまう事故が多発していることから、各事業者においてつまみ（スイッチ部）の無償改修を行っています。また、電気こんろメーカー及びキッチンユニットメーカー13社は、平成19年6月20日に「小形キッチンユニット用電気こんろ協議会」を設立し、再発防止のため、100%改修を目指した抜本的対策を、平成19年7月3日及び7月31日に公表し、改修を加速することとしています。

また、同様のスイッチ構造を持つ「上面操作一口電気こんろ」及び「複数口電気こんろ」についても、改修対象に加え、平成19年8月1日に、新聞社告を掲載し、改修を行っております。

※一口電気こんろ

改修対象台数 530, 401台（全社合計）

改修率 82.9%（平成20年5月31日現在）

※上面操作一口電気こんろ

改修対象台数 60, 969台（全社合計）

改修率 28.5%（平成20年5月31日現在）

※複数口電気こんろ

改修対象台数 147, 700台（全社合計）

改修率 34.7%（平成20年5月31日現在）

②消費者への注意喚起

当該製品を含む電気こんろのつまみカバーのない製品においては、上記のように火災事故が多発しています。当該電気こんろはつまみ部分にカバーがなく露出しており、体や荷物が触れてしまうと知らないうちに火災につながる恐れがあります。

消費者の皆様におかれましては、電気こんろの上や周辺に可燃物を置くことを避けていただくとともに、電気こんろのつまみにカバーのない製品をお使いで、まだ製造事業者等の行う改修を受けておられない方は、下記フリーダイヤル等に速やかに御連絡ください。

また、製造事業者等が改修のためにダイレクトメールや直接訪問を行ったものの、不在等の理由で改修が出来なかったケースもあり、そうしたケースからも火災事故が複数件発生しております。製造事業者等が行う訪問改修に御協力くださいますようお願いいたします。

（日立アプライアンス株式会社の問い合わせ先）

フリーダイヤル：0120-256-557

（タカラスタンダード株式会社の問い合わせ先）

フリーダイヤル：0120-200-805

（小形キッチンユニット用電気こんろ協議会の問い合わせ先）

電話番号：03-3556-5915

フリーダイヤル：0120-355-915

(2) 株式会社富士通ゼネラルが製造した電気冷蔵庫（管理番号 A200800329）

①事故再発防止策について

株式会社富士通ゼネラルが製造・販売した電気冷蔵庫において、食品汁等が電装部へ流れ込むことにより、コネクタ部でトラッキングが生じ、火災に至った事故が発生しました。このため、株式会社富士通ゼネラルでは、今後も同様の事故が発生するおそれがあることから、平成17年9月2日、平成18年6月2日及び平成18年11月7日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について、無償改修を実施することとしました。

改修対象台数 197, 898台

改修率 32.7%（平成20年6月30日現在）

②消費者への注意喚起

消費者の皆様におかれましては、対象製品を使用されている場合には、下記フリーダイヤルに速やかに御連絡ください。

（株式会社富士通ゼネラルの問い合わせ先）

フリーダイヤル：0120-623-667

(3) 株式会社東芝製テレビ（ブラウン管型）（管理番号 A200800336）

①事故再発防止策について

電解コンデンサーの不具合により、劣化が起きると、電解コンデンサーの安全弁が作動して内部の電解液が気化し、蒸気が漏れる場合があります。製造事業者である株式会社東芝では、平成16年1月20日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、対象製品について改修を実施しております。

改修対象台数 7, 775台

改修率 5.5%（平成20年5月31日現在）

②消費者への注意喚起

消費者の皆様には、当該機器を含むリコール対象機器をお使いで、まだ製造事業者の行う改修を受けておられない方は、下記フリーダイヤルに速やかに御連絡ください。

（株式会社東芝の問い合わせ先）

フリーダイヤル：0120-709-700

（本発表資料のお問い合わせ先）

商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：鶴岡、服部、豊島

電話：03-3501-1707(直通)